

# KOUNAN SMILE vol.24

～江南ラミネートを取り巻くすべての人たちに笑顔を～

2018.9

新しい仲間が増えました♪  
川上 直哉さん  
10月27日  
いも炊き大会開催！  
幹事は表ラミです。  
初めてのことなので  
みなでアイデアを出し  
合せて楽しい会に  
していきましょう！

## 神野レポート 届きました！

①西精工株式会社 ②徳武産業株式会社

8月30、31日と9月1日に2つの会社を訪問してきました。その内容をレポートさせていただきます。

(残念ながら『きよこがゆく』は今回はお休みさせていただきます)

まず1社目は、徳島の【西精工株式会社】さんです。藤田さんと私(神野)で2日間にわたり訪問してきました。この会社は、ナットを製造している約250名規模の会社で、私達と同じ製造・加工業です。1日目は、西社長と参加者約20名での懇親会で、様々な企業の方々とお酒を交えながら楽しくお話しさせていただきました。

2日目はいよいよ会社訪問です。朝7時前の集合でしたが、既に社員の方が出社されており、大きな声で気持ち良く出迎えてくれました。今回の訪問はナットの作り方を勉強しに行ったのではなく、朝礼を見学することが目的でした。噂に聞いているかもしれませんが、西精工さんの朝礼は毎朝1時間立っただけで行います。これだけ聞くと、とんでもない会社だと思いませんか？そう、とんでもない会社でした。いい意味で(笑)各部署20名程が一つの輪になって、真剣に和気あいあいと行っています。内容的には、わが社の『朝礼+木鶏会』のような感じで、確かに1時間みっちりでした。ただ1時間あっという間でした！「朝礼に1時間も！」という声が聞こえてきそうですが会社としてやるべきことをすると結果として1時間経っているだけなのです。(当日は1時間半くらいでしたよ！)

そして2社目、今度は高松の【徳武産業株式会社】さんです。5月に大阪で行われた木鶏会全国大会に中四国代表で出場された会社です。行かれた方、覚えてますか？大阪良かったですね。50名程の会社で足の不自由な方向への靴を製造・加工されています。訪問の目的は、徳武産業さんの木鶏会への参加です。わが社精鋭部隊の5人<高橋(安)さん、山川さん、藤田さん、岡崎さん、神野>で朝6時に集合し、一路、徳武産業さんへ。気合い入り過ぎで1時

西精工(株)さん 参加者と共に



間前に到着しましたが、社員の方も朝の清掃を始められておりました(驚)毎朝1時間前に

出社し、掃除をされるそうです。掃除は、全ての“気づき”の原点の精神で取り組んでいるそうです。感心している間もなく、いよいよ木鶏会へ。スタイルは基本同じでした。ただ、5人とも感じたのが、大きな声でハキハキと自分の意見をしっかりと述べているところです。また、相手のことも普段からよく見ており、美点凝視が細かくしっかり出来ているところです。徳武産業さんは、木鶏会を始めて8年経過しているそうです。「8年も！」という声が聞こえてきそうですが、実は、やるべきことを8年続けているだけで、その手法が木鶏会というだけのことなのです。(集中し過ぎて木鶏会の写真撮るの忘れまして・・・)

今回2つの会社を訪問しましたが、どちらの会社も大変立派な会社でした。ただ、昔からそうであったわけでは当然ありません。会社をより良くしたいというトップの強い熱意があり、それぞれの会社がそれぞれの手法で企業理念・経営方針・行動指針を理解し、それに基づいた行動を繰り返しています。「別に何もしなくてもいいじゃないか？」という風に考えてしまいがちですが、そのような会社は、おそらく存続しないでしょう。より良い人生を送るには、自らが成長し、会社が発展しなければなりません。それを実現していくには、どうすべきか、というヒントが今回の訪問で得られた気がします。今回参加された方を含め、より多くの方が同じ方向を向いてくれば、船は大きく前進すると思います。

皆さんも今回のような機会があれば、是非、積極的に参加して頂ければと思います。そして、船を動かす動力になる方が一人でも多く増えていくことを願っています。皆さん、おっけーでしょうか？

<記 神野>



西精工(株)さんの朝礼



5人の精鋭部隊！



徳武産業(株)さん できたばかりの 本社ショールーム



「お客様用」  
駐車場ステッカー  
施行完了！



施行後は、現物を見て  
行って下さいね！  
一樹さん、ありがとうございました！

## かき氷大会

現場のみなさん、厳しい猛暑の中、毎日本当にお疲れ様です！ということで事務所のみなさんのはからいでこの夏、2回目のかき氷大会が開催しました事務所のみなさん、ありがとうございます！



## 今月の主役！

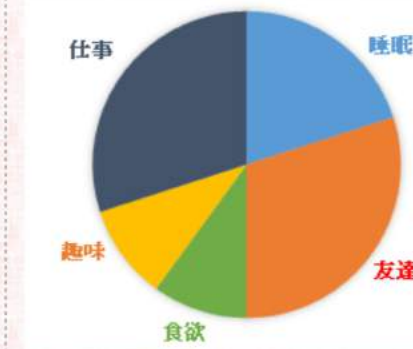
毎月1人をランダムにピックアップ！  
仲間のことをもっと知ろう！というコーナー



今月の主役は松谷力さんです。皆さんの知らないアレコレ、調査してきました！江南ラミネート最年少の松谷さんはまじめで明るい性格！趣味はスポーツで、たまにバスケットやテニスをしているそうですよ。他にも映画鑑賞や読書が好きだそうです。アウトドアとインドア両方楽しんでいますね！  
休日は家で友達とゲームをして遊んだり、香川や松山のラウンドワンに行ったり、意外と活発な松谷さん。平日も仕事終わりに友達とご飯を食べにいたりしているそうです。私もそのフットワークの軽さを見習いたいです…。松谷さんの好きなものはフルーツとパスタ。苦手なものは納豆と刺身。そういえば先月の主役大西さんも納豆が苦手でした。西日本では昔から納豆を食べる文化がなく苦手な人が多いそうですね。さて話は変わりますが、松谷さんの最近のお気に入りには米津玄師！皆さん読めますよね？お坊さんではなくミュージシャンですよ！(笑)ドラマの主題歌になった「Lemon」や、車のCMソング「LOSER」などを手掛ける実力派シンガーです。知らない方はYouTubeをごらんください。

◆あなたの10年前  
10年前松谷さんは9歳の小学3年生でした。当日ペイブレードやポケモン、デュエルマスターズなどが流行っていたそうです。男の子たちはいつの時代もゲームやカードが好きですね！

## ◆脳内パーセンテージ



◆前回の主役(大西輝さん)からの質問  
Q、乃木坂46ではだれのファンですか？自分は白石ではなく秋元です。  
A、生田絵梨花です。  
以上、松谷さんの調査結果でした！次は誰が選ばれるか、お楽しみに♪

## 8月2日 紙のいろはセミナー

森さん、後道さん、保土さん、松谷さんの4名が大王製紙さんに研修に行きました。4月の新人研修をともに受けたメンバーで懐かしい感じがしたのではないのでしょうか(笑)工場見学では機械の大きさや全自動包装機などに圧倒されたようです。私たちの仕事も大王製紙さんの支えがあってこそ成り立っています。そのことに感謝しながら、また私たちも今後『紙のまち』に貢献できる企業になっていけるといいですね。そう、恩送り！

## 「カツ社長がゆく」の巻

八月二十三日【第二回 高校生ビジネススラン・コンテスト】四国中央市君の案は。の発表会&授賞式に審査員として参加してきました。予選を通過した7組の高校生による独自のビジネスプランと、力の入ったプレゼンテーションに審査員一同驚かされました。特に最優秀賞を獲得した妻鳥佑衣さん(川之江高校三年)は地元経営者顔負けのアイデアとプレゼンテーションでした。タイトルは【DASHI PAPER】。野菜で作った紙にダシを加えて「食べられる飾り」として販売するというもの。紙なので自由に加工することが出来ます。例えば折り鶴を作ること可能です。従来「落ち葉」や「野菜」をカットして飾りにしていた和食店をターゲットにしており、鮮やかに飾りつけるだけでなく、味も変化させ、食を演出できる、という素晴らしいプランでした。四国中央市は日本の『紙のまち』なのですが、妻鳥さんは紙の需要が減少していることを危惧しており「新しい紙の需要を掘り起こしたい！」「紙のさらなる発展を後押ししたい！」という想いでこのプランにたどり着いたとのこと。そして、特に素晴らしいのは、実際に試作を繰り返し、形になった

## 8月29日セミナー 「できる管理者になる5つの急所」

研修に行ったのは大西輝尚さん、大塚直樹さん、大西剛広さんの3大トリオ！「大西さん」と当てられた時は焦ったという輝尚さん。剛広さんで良かったですね(笑)話がおもしろくて、あっという間に終わったという大塚さん。人間は忘れる生き物なので繰り返し振り返りをしながら仕事に落とし込んでいってほしいですね。

## 9月15日(土) しこちゅうじよぶ

小学生のみなさんが工場見学に来てくれます。委員会のメンバーだけでなく、みんなで“おもてなし”しましょう♪子どもたちに「働くってカッコイイな」「あんな大人になりたいな」って夢を持たせてあげられるといいですね～！

ものをコンテストに持って来たという事です。アイデアだけでなく、実際に形にして検証している…素晴らしい高校生が地元にいるものだと共感させられました。そして高校生全員とか「何か四国中央市の役に立ちたい」という素直な気持ちでした。自分自身のことを振り返ってみても子供の頃は同じように地元愛や利他の精神にあふれていたように思います。それが成長と共に、さらに社会に出て働くようになって、いつの間にか「自分の楽しみのことやお金のこと」だけを考えてしまおう大人になってしまっただけのことをとても恥ずかしく思いました。こんな感性豊かな高校生のみなさんに、成長のための大きな刺激を提供したり、すぐと育つ環境を提供したりできるよう、地元で働く私たち大人達は、良い見本となるようにより一層成長しないといけないと感じた1日でした。 克晴